ラーメン王国 にいがた 2

たっぷり背脂 労働支え

背脂でぎっちりとコーティングされたスープに、肉厚のチャーシューと平太麺が相まって、見た目はがっつりとした印象だ。だが、スープを一口運ぶと甘みが広がり、意外に重たくない。みじん切りの生タマネギの甘さがスープに合い、麺と一緒に口に入れると、シャキシャキした食感がアクセントになる。何とも癖になる一杯だ。

燕市燕の「杭州飯店」店主、徐直幸さん(51)は「こってりしたのを出そうと背脂を入れてるから、『見た目よりあっさり』と言われるとちょっと複雑な気持ち……」と苦笑いした。

◇

「背脂ラーメン」を考案したのは、中国から出稼ぎで来日した祖父・昌星さん。各地を転々とし、東北地方でラーメンの屋台を引いていた時、「新潟は景気がいい」と耳にして燕市に来た。

1933年に市内で「福来亭」を創業。当初は、細麺のシンプルなしょうゆラーメンを出していた。だが、金物産業が盛んな燕らしく、客の半分以上は工場で働く人たち。「肉体労働で働く人には物足りないのではないか。もっとおなかいっぱいにしてあげたい」。そんな時、精肉店の片隅に置かれた大量の脂身を目にした。店主から「これなら配達料だけで提供してあげる」と言われ、ラーメンに入れたのが始まりだ。

高度経済成長期になると、市内の多くの工場から夜食の注文が殺到。多い時で一晩に300杯を配達した。配達まで時間がかかるため、麺が伸びるのを少しでも抑えようと平太麺にした。徐さんによると、当初は「うどんなんか頼んでない」と言われたこともあったという。

◇

店が繁盛すると、弟子入りの希望者が相次いだ。昌星さんは進んで受け入れ、味を伝授した。弟子たちが独立し、「背脂ラーメン」はいつしか燕三条地域のソウルフードとなった。

77年に父・勝二さんが、「福来亭」の姉妹店として「杭州飯店」を開き、約10年前に徐さんが後を継いだ。代名詞は一貫して背脂ラーメンだが、代替わりの度に背脂の量が増えている。「出前でスープが冷めないよう脂の膜が蓋をしている」と言われるが、それは後からわかったこと。「お客さんの要望があって背脂の量がどんどん増えただけ」と徐さんは明かす。

今も客が飲んだスープの量をじっくり観察したり、他のラーメン店の味と比べたりして背脂の量を模索し続けている。「お客さんの好みに合わせて変えていった結果が今の形。これからもお客さんが求める味を届けていきたい」。背脂の量は変化しても、「地域の人々を喜ばせたい」という創業者の思いは変わらずに受け継がれている。

杭州飯店（燕市燕）

「いつもお客さんの好みを気にしています」と語る「杭州飯店」の店主、徐直幸さん（燕市燕で）

「杭州飯店」の「中華そば」。背脂たっぷりだが、タマネギが甘さを感じさせる

■杭州飯店　中華そばは税込み900円。燕市燕49の4。月曜定休（祝日の場合は翌日）、月2回は火曜も休み。0256・64・3770。

がっつり パワーチャージ

「NGT48ら―めん部」部員・真下華穂さん

©Flora

私は静岡県出身で、「燕三条背脂ラーメン」を食べたのは、NGT48に加入してからです。食べ応えがあるので、パワーをチャージしたい時に食べたくなります。

第一印象は、キラキラとした背脂の蓋が覆っているみたいできれいだと思いました。こってりしてそうで食べきれるか心配でしたが、中太麺に背脂がよく絡んで、そんな心配を忘れるくらいすぐに完食できました。

背脂ラーメンを食べる時は、できるだけ麺に背脂を絡ませて食べると、うま味が増してよりおいしく食べられます。ラーメンの器にも背脂がたっぷりついていることがあるので、持つときは滑らないように気をつけてください。

ラーメンだけを目的に、観光できるのは新潟の魅力の一つです。私も県内各地のラーメン店を巡りながら、新潟のことをもっと知りたいと思っています。

砂防ダムのみ込まれた

住民「しっかり対策を」

村上・小岩内集落

3～4日に県北地域を襲った記録的な大雨から2週間。土石流で住宅5棟が全損壊するなどした村上市小岩内集落に甚大な被害をもたらしたのは、山から沢伝いに流れ込んだ土砂や流木だった。沢の上流では何が起きていたのか。集落の住民に案内してもらい現地を歩いた。（岩瀬詩由）

で土石流の原因となった「小岩内大沢」をさかのぼった。コンクリートの護岸は土砂流入の激しさを物語るように崩れたり、ひび割れたりしていた。しばらくすると、県が管理する高さ11・5㍍、長さ59㍍の砂防ダムが見えてきた。ダムは大量の土砂をせき止め、今にも崩れ落ちそうなまで流

土石流の被害を受けた村上市の小岩内集落。上方にあるのが砂防ダム（5日、本社機から）＝松本拓也撮影

がある。

点検は5～10年ごとに実施され、直近では2016年に行われた。ダムにたまった土砂の量はその時点で「計画貯砂量」の約30％。ダムの健全度は3段階で最も高いと判定されていた。

かがえた。高野さんは「想像を絶する流木の量。羽越水害の時でさえ、こんなに大量の流木はなかった」と驚きを隠さない。

村上市の高橋邦芳市長は「羽越水害は川の氾濫による被害が甚大だった。今回は山の災害の側面がある」と指摘。県は19日までに、砂防ダム周辺の土砂や流木などの撤去を終える予定だ。県砂防課は「土砂量を調査し、必要なダムの規模を検討したい」とし、土砂をより多くためられるダムへの改修や、上流にダムを増やすことなども検討するという。

「羽越水害から55年。また災害を経験するとは思わなかった」と高野さん。「住み慣れた土地で住み続けたいという住民はいる。同じような被害が出ないよう、しっかり調査や対策をしてほしい」と訴えている。

小3と祖父 死因は溺死

柏崎水難

柏崎市の柏崎中央海水浴場で小学3年の男児が沖に流され、助けようとした祖父も溺れ、ともに意識不明の重体になっていた水難事故で、柏崎署は16日深夜、搬送先の病院で2人の死亡が確認されたと発表した。死因はいずれも溺死。

同署などの発表によると、死亡したのはいずれも埼玉県川越市、中村櫂斗君(8)と、祖父の隆さん(69)。櫂斗君は姉(10)と隆さんの3人で海水浴に訪れていた。

隆さんは事故当時、櫂斗君の姉と砂浜で遊んでおり、櫂斗君が流されていると聞いて海に入ったという。

新潟地方気象台などによると、この日は波浪注意報と強風注意報が出されており、海水浴場は正午過ぎから遊泳禁止となっていた。

阿賀 クマ目撃相次ぐ

線路やSA付近…同一個体か

JR磐越西線 東下条駅近く

17日午前11時50分頃、阿賀町熊渡のJR磐越西線東下条駅付近の線路内をクマ2頭が歩いているのを、同駅に停車していた下り列車の運転士が発見し、同社を通じて通報した。津川署によると、2頭は親グマ（体長約1㍍）と子グマとみられ、その後、線路脇の林の中に入っていったという。

発表によると、現場の家から約30㍍の場所～15日には、駅から00㍍離れた所にある自動車道上り線の川サービスエリア付近でクマ2、3頭が目撃されている。

同署は同一個体の可能もあるとして、町などと携し、近隣住民に注意をよびかけている。

小千谷市長選 宮崎氏出馬

小千谷市長選の告示、13日投開票の自民党県議の宮崎氏(55)（小千谷市）は17日、無所属で立候と表明した。宮崎氏は同市内で記者会見し、ふるさと小千谷の身全てを懸けたいと述べた。

宮崎氏は同市議を011年から現在3期目。人口題に掲げ、「移住係人口の拡大を民がこの地に住かったと思い、一に思うまちづくり一体で進めたい」。

3選不出馬を明塚昇一市長(71)に同席し、宮崎氏指名した。

同市長選には、中淳氏(63)も立候している。